



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 共栄セキュリティーサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7058 URL https://www.kyoei-ss.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 我妻 文男
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 坂本 歩 (TEL) 03(3511)7780
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,611	△4.9	258	△26.9	343	△13.3	224	△12.6
2020年3月期第3四半期	4,846	14.3	354	△0.4	396	8.0	256	7.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 221百万円(△13.2%) 2020年3月期第3四半期 254百万円(6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	148.96	147.28
2020年3月期第3四半期	170.35	167.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,070	3,854	76.0
2020年3月期	4,588	3,768	82.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,854百万円 2020年3月期 3,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)					

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,477	1.0	449	0.8	498	0.3	325	216.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,506,500株	2020年3月期	1,506,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,367株	2020年3月期	107株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,506,090株	2020年3月期3Q	1,506,462株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴う経済活動の停滞が長期化の様相を呈しており、再び緊急事態宣言が発令されるなど予断を許さない状況が続いております。

警備業界(人的警備分野)においては、各種イベントの自粛・中止・延期、商業施設などの営業自粛、建設現場の工事中断などによる需要の減少がありました。5月25日の緊急事態宣言の全面解除以降、ゆるやかな回復基調にあります。また、当社の主軸である施設常駐警備分野においては、臨時的警備需要の低迷が続いておりますが、恒常的常駐警備は、企業活動及び治安の維持に必要な不可欠な長期契約のサービスであり、限定的な影響に留まっております。

このような環境の中、当社グループは、徹底した感染防止対策に取り組み、お客様及び従業員の安全確保に細心の注意を払うとともに、事業継続性の確保、サービスレベルの維持及び企業としての社会的責任の遂行の両立を進めております。

(事業活動)

商業施設の営業自粛に伴う顧客との連携及び要請等により、警備体制の一時的縮小や臨時警備の受注減少があったものの、主力であるオフィス系の施設警備は概ね従来通りの警備体制を維持するとともに、複数の新規受注案件の警備を開始、既存案件の警備員増員要請への対応等により、当社グループの施設警備分野全体としての影響は限定的であります。また、厳しい経営環境の一方で、有力な若手人材の確保に注力しており、当社グループの採用活動は順調に推移しております。さらに、今後回復することを見据えた警備需要に備え、当社の警備品質の向上を念頭に管理職をはじめとする教育研修にも注力してまいりました。

新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、各種活動に自粛を余儀なくされておりますが、社会の安全を守るべく、必要とされる警備需要の期待に応えられるよう尽力してまいります。

なお、前年同四半期累計期間に20カ国・地域(G20)首脳会議関連及び国際競技大会(ラグビー)関連の警備特需が発生した反動により、当第3四半期連結累計期間の売上高及び各段階利益は前年同四半期累計期間に比べ減少しております。

(グループ成長活動)

当社は、第1四半期連結会計期間において、警備業界最大手であるセコム株式会社と業務・資本提携を実施致しました。

第2四半期連結会計期間においては、7月1日に四国・中国地方で人的警備を展開する東京セフティ株式会社株式の33.3%を取得いたしました。重要な後発事象に記載のとおり、コロナ環境下において経営統合等の調整に難航を極め、一旦、資本関係を解消することといたしました。また、8月27日に病院経営・運営の総合支援事業を担う株式会社キャピタルメディカと業務提携契約を締結し、医療専門機関たる第三者からの認定を受け、感染症対策ガイドラインに基づいた「コロナ対策警備」を運用するなど、社員及びお客様の安全確保、感染拡大の防止を最優先に取り組んでおります。なお、当業務提携契約により、感染症対策に関する情報発信及び「BBB認定証」(注)取得の普及活動に取り組んでおり、引き続き上場会社としての社会的責任を果たしてまいります。

当第3四半期連結会計期間においては、11月30日に不動産関連領域において、独自の事業を展開する株式会社ピーロットと警備事業拡大を視野に業務提携契約を締結いたしました。

今後も中長期的及び持続的企業成長に関する取り組みを積極的に推進してまいります。

(注)「BBB認定証」は、株式会社キャピタルメディカが監修したガイドラインを遵守する組織・施設に発行されます。「BBB」とは「Build Back Better」の頭文字を取ったものであり、「よりよい社会の再建」を意味します。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は4,611,327千円(前年同期比4.9%減)、営業利益は258,956千円(前年同期比26.9%減)、経常利益は343,698千円(前年同期比13.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は224,352千円(前年同期比12.6%減)となりました。

なお、当社グループは警備事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する現状認識)

1. 施設警備においては、一部の商業施設の警備や臨時警備の受注減少がありました。主力であるオフィスビル等の警備は概ね感染拡大前の警備体制を維持しており、通期業績に対する影響は限定的であると想定しております。
2. 交通誘導警備においては、主力であるライフライン関連工事の警備は概ね感染拡大前の警備体制を維持しており、通期業績に対する影響は限定的であると想定しております。
3. イベント警備においては、当社グループにおけるイベント警備の売上高比率が小さいため、通期業績に対する影響は限定的であると想定しております。
4. 今後国内においても再び感染拡大の状況下にありますが、経済活動の低迷が長期化する事態となった場合、当社の警備契約の継続及び受注に影響を及ぼす可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ482,028千円増加し、5,070,234千円(前連結会計年度末比10.5%増)となりました。これは主として、現金及び預金の増加387,331千円によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ396,534千円増加し、1,215,950千円(前連結会計年度末比48.4%増)となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加115,004千円及び長期借入金の増加347,494千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ85,494千円増加し、3,854,284千円(前連結会計年度末比2.3%増)となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加224,352千円及び配当金の支払による減少112,979千円を起因とする利益剰余金の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は76.0%(前連結会計年度末は82.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年6月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、本決算短信に記載の見通しは当社グループの現在の予測に基づくものであり、外部環境の不確実性や変化に左右されるため、様々な要因により実際の業績と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,707,743	3,095,075
受取手形及び売掛金	670,025	673,742
貯蔵品	10,661	14,474
その他	57,173	82,250
貸倒引当金	△357	△392
流動資産合計	3,445,247	3,865,149
固定資産		
有形固定資産	283,633	277,587
無形固定資産		
のれん	12,696	—
その他	26,526	19,891
無形固定資産合計	39,223	19,891
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	539,406	534,516
その他	280,694	374,337
貸倒引当金	—	△1,248
投資その他の資産合計	820,101	907,606
固定資産合計	1,142,958	1,205,085
資産合計	4,588,206	5,070,234

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,622	23,531
1年内返済予定の長期借入金	—	115,004
未払金	575,349	491,059
未払法人税等	119,921	33,466
その他	66,491	170,255
流動負債合計	783,384	833,317
固定負債		
長期借入金	—	347,494
資産除去債務	14,060	14,228
その他	21,970	20,910
固定負債合計	36,031	382,633
負債合計	819,416	1,215,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	498,707	498,707
資本剰余金	549,951	545,884
利益剰余金	2,718,007	2,829,379
自己株式	△469	△19,092
株主資本合計	3,766,195	3,854,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,594	△594
その他の包括利益累計額合計	2,594	△594
純資産合計	3,768,789	3,854,284
負債純資産合計	4,588,206	5,070,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,846,735	4,611,327
売上原価	3,578,413	3,426,093
売上総利益	1,268,322	1,185,233
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	244,861	271,641
その他	669,087	654,636
販売費及び一般管理費合計	913,949	926,277
営業利益	354,373	258,956
営業外収益		
受取利息	48	49
受取配当金	447	500
受取地代家賃	34,747	34,933
保険解約返戻金	22,284	65,434
持分法による投資利益	—	1,588
その他	1,112	13,982
営業外収益合計	58,641	116,489
営業外費用		
支払利息	164	543
貸貸収入原価	15,255	16,916
保険解約損	—	7,558
持分法による投資損失	906	—
原状回復費用	—	6,481
その他	48	247
営業外費用合計	16,373	31,746
経常利益	396,640	343,698
特別損失		
固定資産売却損	—	679
特別損失合計	—	679
税金等調整前四半期純利益	396,640	343,018
法人税、住民税及び事業税	143,482	107,304
法人税等調整額	△3,465	11,362
法人税等合計	140,016	118,666
四半期純利益	256,623	224,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	256,623	224,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	256,623	224,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,750	△3,189
その他の包括利益合計	△1,750	△3,189
四半期包括利益	254,872	221,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,872	221,162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(資本関係の解消)

当社は、2021年1月13日開催の取締役会において、東京セフティ株式会社（以下、「東京セフティ社」という。）との資本関係を解消することを決議いたしました。

(1) 東京セフティ社の概要

1. 名 称 : 東京セフティ株式会社
2. 事業の内容 : 警備事業
3. 所 在 地 : 香川県高松市上天神町791番地1
4. 代表者の役職・氏名 : 代表取締役 西岡 章夫

(2) 株式の保有状況

保有株式数 : 100株 (議決権の数 100個、議決権所有割合 33.3%)

(3) 解消の理由

当社は、2020年7月にグループの営業エリアの拡大を目的として、東京セフティ社の株式を取得致しました。しかしながら、コロナ環境下において経営統合等の調整に困難を極めており、一旦、資本関係を解消することを決議いたしました。

(4) 業績に及ぼす影響

現段階においては、2021年3月期の連結業績に与える影響につきましては軽微であると見込んでおります。